サイエンス記事

波紋記事の書き方

田中 太郎

（○×大学物理学科）

How to Write a *HAMON* Article

Taro Tanaka

Department of Physics, ○×University

ABSTRACT

The English abstract (100~200 words) of your article should be placed here.

Keywords: *Please write a few keywords (fields, techniques, etc.)*

1. はじめに

　これは，「波紋」用のMicrosoft Word用テンプレートです．**このファイルに直接打ち込んで原稿をご作成下さい．**

2. 原稿の長さ，ページ・マージン等

　原稿の長さは，A4刷り上がり4ページ程度です．ページ・マージン等は以下のようにして下さい（このファイルをご使用頂く場合，特に設定する必要はございません[1])．

○ページ・マージン（A4設定）

　上，下ともに2 cm

　左，右ともに2.5 cm

○2カラム時の各段の幅7.76 cm, 段の間の間隔0.46 cm，左右対称です．

○行間は，固定で，13 pt程度．

3. 題名，著者名，所属機関名

　タイトルはMSゴシック14 pt，著者名はMS明朝12 pt，所属はMS明朝10 ptで省略せずに記入，英文タイトルはTimes 14 pt，英文著者名はTimes 12 pt，英文所属はTimes 10 ptとして下さい．

4. ABSTRACT，Keywords

　英文アブストラクト及びキーワードはTimes 10ptを使い，キーワードはイタリック表記として下さい．アブストラクトは100〜200語でお書き下さい．

5. 本文

　句読点は全角の「，」（コンマ）「．」（ピリオド）に統一して下さい．数字，英字は半角にして下さい．

5.1. 本文の見出し

　見出しは以下のルールでお願いします．

　セクション：1. 2. 3. ・・・（半角）

　サブセクション：1.1. 1.2. ・・・（半角）

5.2. フォント

　本文，漢字・ひらがなは，MS明朝10 pt，英文フォントは，TimesまたはSymbol（すべて10 pt）をお使い下さい．

5.3. 数式

　Word付属の数式エディタをご使用の場合，フォントは本文と同じでお願いします．また，Tex等の他のアプリケーションで作成した数式を画像として張り込む場合は，下記の5.4の項を参考にして下さい．右端には数式番号を記入し，本文で引用する際にはEq. (1)と表記して下さい．

 (1)

5.4. 図，写真，表

　図，写真，などの画像ファイルは可能な限りEPSまたはTIFF形式のファイル形式にして下さい．jpeg形式も受け付けますが画像が劣化する場合があります．画像の解像度の目安は，

　白黒　450 dpi

　グレースケール　300 dpi

です．表についても画像ファイルとしてはめ込む場合は上記と同様です．表をExcelで作成される場合は，印刷の都合上，一番細い罫線はご使用にならないで下さい．

　カラーの画像ファイルから白黒印刷を行う場合，色の判別が不鮮明になる場合があります（例：赤と緑が同じ色に見える）ので，できるだけ白黒またはグレースケールに変換したファイルをご用意下さい．また，規定の料金を負担して頂くことでカラー印刷にも対応いたします．カラー印刷をご希望の場合は，RGBモードのファイルをご用意下さい．

　図，表の説明文は**英文**でお願いします．表の説明は表の上段に，図の説明は図の下段にお願いします．また，図の場合，Fig.1. ，Fig. 2. のように，表の場合，Table 1.，Table 2.のように，通し番号を付けて下さい．図及び表のキャプションはTimes,またはSymbol（9 pt），行間は固定で10 pt，行幅を5 mmずつ縮めて下さい．以下のその例を示します．

Fig. 1. Example of figure. \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*.

Table 1. Example of table. \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*.

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | AAA | BBB | CCC | DDD |
| 1234 |  |  |  |  |
| 3456 |  |  |  |  |
| 5678 |  |  |  |  |

参考文献

　論文，書籍等に応じて下記のように参考文献を記すこと．また本文中では[1], [2,3], [4-6]等で引用すること．

[1] E.L. Hahn, Phys. Rev. **80**, 580 (1950).

[2] T. Kamiyama *et al.*, Mat. Sci. Forum **321-324**, 302 (2000).

[3] 服部高典ら, 波紋**20**, 39 (2010).

[4] M. Arai *et al*., in Recent Developments in the Physics of Fluids, eds.W.S. Howells, A.K. Soper (Adam Hilger, Bristol, 1992), pp. F321-328.

[5] 荒田洋治, 水の書 (共立出版, 東京, 1998), 第2章, p. 43.

[6] 福永俊晴, 日本中性子科学会　第13回年会講演概要集, MA-3, p. 6 (2013).

[7] J. Chadwick (private communication).

著者紹介

　著者略歴，著者写真の掲載は任意ですが，読者の利便のためにもできるだけ掲載して下さい．略歴の文字の大きさは，9 ptとして下さい．

|  |
| --- |
| 顔写真を入れる． |

田中 太郎（たなか たろう）

略歴：

所属：

e-mail：

専門：

趣味：